

## 耐寒性・収量性が高く、優れた製茶品質を有する緑茶用品種「つゆひかり」

### [要約]

「つゆひかり」は、高い耐寒性・炭疽病耐病性を有する多収性の緑茶用品種である。一番茶荒茶の全窒素・遊離アミノ酸含有率が高く、優れた製茶品質を有することから「やぶきた」の補完品種として有望である。

農業総合センター山間地帯特産指導所

成果  
区分

技術情報

### 1. 背景・ねらい

本県のチャ栽培品種のうち約 80%が「やぶきた」であり(H26、在来を除く)、品種構成が「やぶきた」に偏重することで、産地では病害の多発、香味の画一化等の弊害が生じている。そこで、耐寒性・収量性が高く、優れた製茶品質を有する本県茶産地に適した品種を選定する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 「つゆひかり」は、静岡県茶業試験場において昭和 45 年に「静 7132」を母親、「あさつゆ」を父親として交配・育成された品種であり、平成 15 年に品種登録（登録番号：第 11103 号）が行われている（図 1）。
- 2) 「つゆひかり」の萌芽期・一番茶摘採期は「やぶきた」とほぼ同時期である（表 1）。
- 3) 「つゆひかり」は、「やぶきた」に比べ樹勢が強く耐寒性にも優れる。また、炭疽病の発生も少ない（表 1）。
- 4) 「つゆひかり」の一番茶収量は、「やぶきた」より約 40%多い（表 2）。
- 5) 官能審査による「つゆひかり」の一番茶荒茶品質の評価は「やぶきた」より総合的に優れ、香味の特徴としてさわやかな香気と温和な滋味が感じられる（表 3）。
- 6) 「つゆひかり」の一番茶荒茶全窒素・遊離アミノ酸含有率は「やぶきた」に比べ高く、タンニン含有率は低い（表 4）。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果は、久慈郡大子町の山間地帯特産指導所ほ場（春整枝園）において調査した結果である。なお、施肥は、県普通作物栽培基準の施肥基準に準じ、窒素で年間合計 48kg/10a 施用している。
- 2) 耐寒性が強いので県下全域に適用できる。
- 3) 樹勢が強く新芽が芽重型傾向になりやすいため、芽数増加を意識した整せん枝を行う必要がある。
- 4) 活着率と初期生育の向上を図るため、定植前の土壌改良や幼木期の肥培管理を徹底する。
- 5) 製茶加工時に粉や浮葉が出やすい傾向があるため、晩期摘採や深摘みを避けるとともに、風力選別機等の利用により分離除去を行うことで製茶品質の向上を図ることができる。
- 6) 苗木は許諾契約を結んだ団体から入手可能である。

#### 4. 具体的データ

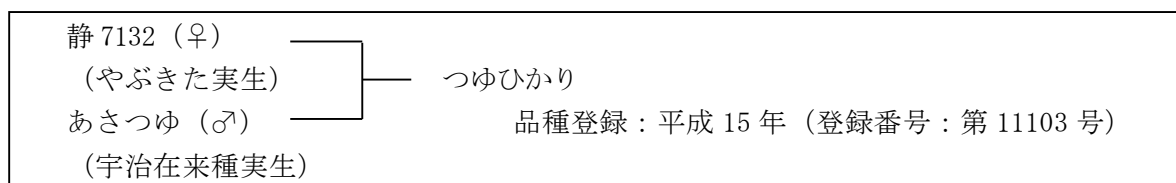


図 1 「つゆひかり」の育成系統図

表 1 生育特性

供試品種	萌芽期 (月日)	一番茶 摘採期 (月日)	二番茶 摘採期 (月日)	樹高 (cm)	株張り (cm)	寒害(赤枯れ) 発生程度 (指数)	炭疽病 発生程度 (指数)
つゆひかり	4/22	5/24	7/15	88	138	1.9	1.1
やぶきた	4/22	5/24	7/15	79	112	2.8	2.0

注) H23~27 の平均値 寒害発生程度・炭疽病発生程度：1(無)→5(多)  
 栽植密度等：うね間 180 cm×株間 30 cm (一条植え・H19 定植)  
 春整枝を 3 月下旬に実施

表 2 収量

供試品種	生葉収量(kg/10a)		
	一番茶(指数)	二番茶(指数)	合計(指数)
つゆひかり	254(140)	223(174)	477(154)
やぶきた	181(100)	128(100)	309(100)

注) H23~27 の平均値 指数は「やぶきた」を 100 とした値

表 3 官能審査による荒茶品質評価

供試品種	一 番 茶							二 番 茶						
	形状	色沢	香気	水色	滋味	内質計	合計(指数)	形状	色沢	香気	水色	滋味	内質計	合計(指数)
つゆひかり	8.4	9.2	9.6	9.6	9.4	28.6	46.2(111)	5.0	5.3	6.3	5.7	5.7	17.7	28.0(105)
やぶきた	6.8	7.6	8.4	9.6	9.2	27.2	41.6(100)	4.7	4.7	5.3	6.0	6.0	17.3	26.7(100)

注) H23~27 の平均値 品質は普通審査法により各項目 10 段階で評価(合計 50 点)  
 内質計=香気+水色+滋味 指数は「やぶきた」を 100 とした値

表 4 荒茶成分含有率

供試品種	一 番 茶						二 番 茶					
	全窒素	遊離アミノ酸	テアニン	繊維	カフェイン	タンニン	全窒素	遊離アミノ酸	テアニン	繊維	カフェイン	タンニン
つゆひかり	5.8	3.4	2.1	17.9	2.9	11.8	4.4	1.4	0.6	22.6	2.5	13.9
やぶきた	5.0	2.5	1.4	19.4	2.7	14.6	3.7	0.8	0.2	22.9	2.7	17.3

注) H23~27 の平均値 近赤外光分析法により評価 成分は乾物当たり%で表示

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

本県茶産地に適する品種の選定 平成 23~27 年度 山間地帯特産指導所